

新婦人
しんぶん

新婦人しんぶん

<部内資料>



NO. 1 新日本婦人の会愛媛県本部

Tel 089-933-3279

Email sinfujn@gamma.ocn.ne.jp

<http://shinfujin-ehime.sakura.ne.jp/>

2024 年 年頭のごあいさつ

世界ではロシアのウクライナ侵略に続き、パレスチナのガザで広がる戦火に、新しい年を心から祝える情勢ではありません。年末には自民党派閥の政治資金パーティーをめぐる裏金疑惑が大きくとりざたされ、物価高騰にあえぐ暮らしの実情にまったく向き合っていない岸田政権の悪政に「節約も限界」と国民の声が上がり続けています。

そんな中で迎えた新年明けに起こった能登半島地震では北陸地方に甚大な被害をもたらしました。日々被害の現状が報道され心が痛みます。被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。全国の仲間と連携して支援活動に取り組みたいと思います。

2024 年は創立 60 年を経てさらに大きく「新婦人」に入って一緒に「合言葉に、「自分のため、誰かのために、何かできること DO!」のよびかけが共感を広げ、会の原点である「要求実現の新婦人」が希望となるように仲間づくりの運動を大きくしていきたいと思います。

会長 野中紀子



能登半島大地震 人命救助と被災者支援に全力を！

「9 の日」行動でも、被災地への救援募金を呼びかけました。若者が「募金したい」と駆け寄ってきてくれました。



今年初めての「6 の日」行動。「一日も早く、日本政府は核兵器禁止条約に参加を」と原爆パネルを展示し、署名を呼びかけました。

第 32 回愛媛県本部大会

12 月 3 日、代議員 46 人、評議員 11 人、オブザーバー 1 人参加で行われました。12 年ぶりに前大会から会員で突破して大会を迎えることができました。12 人から、取り組んでいる活動や仲間づくりなど元気な発言で、議案を深めることができました。

新会長に野中紀子（新）、副会長・渡部則子（再）、事務局長・水野真理子（再）などの新役員を選出し、特別決議（右に掲載）を採択しました。

今後 2 年間、力を合わせて友愛と平和の新婦人にたくさんの仲間を迎えましょう！



新役員を代表して挨拶する新会長・野中紀子さん

特別決議

イスラエルは直ちにガザ攻撃中止を
日本政府は停戦へ、外交努力に全力を

私たちは、会の創立以来、女性と子どものしあわせを願い、核兵器廃絶や平和をまもる運動をひろげてきました。

イスラム勢力ハマスの攻撃を機に、イスラエル軍によるパレスチナ・ガザ地区の学校や病院、難民キャンプなどへの無差別攻撃で、子どもや女性をはじめ多くの民間人が犠牲になっています。このようなイスラエルの蛮行は国際人道法違反のジェノサイド、戦争犯罪であり許すことはできません。

「ただちに停戦を」「子どもを殺すな」の声が世界中で広がり、市民が行動しています。ところが、主要 7 か国（G7）外相会合の共同声明は停戦も求めない不十分なもので、議長国である日本がイスラエルの戦争犯罪を容認、加担したとみられかねない内容です。アメリカ追従の姿勢が厳しく問われています。

日本国憲法前文では「全世界の国民がひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有する」とうたわれています。日本は、平和憲法をもち、イスラエル、パレスチナ双方に関係を持つ国として、停戦を働きかける外交努力を尽くすことを強く求めます。

以上、決議いたします。

2023 年 12 月 3 日

新日本婦人の会第 32 回愛媛県本部大会